

次号予告

とびら 老人福祉とOT..... 洞爺協会病院 前田 守

特集=第8回PT学会・第7回OT学会

理学療法士の壁..... 阪大 浅野 達雄

座談会/第8回PT学会を振り返って..... 自治医大 谷岡 淳・他

地域社会と結びついたOTを行なうために

一現状分析一..... 中伊豆温泉病院 木村 信子

治療効果のとらえ方..... 東京医歯大 佐久間 昭

座談会/第7回OT学会を振り返って..... 都心障センター 寺山久美子・他

講座

筋神経の生理学(12)..... 九州リハ大 和才 嘉昭

フィンガーペインティング(3)..... 九大心療内科 内村 静子

今日の精神科作業療法

対談/生活臨床と作業療法..... 群馬大 江熊 要一・富岡 詔子

英語講座..... 養育院 荻島 秀男

研究と報告

カップ関節形成術 Cup Arthroplasty の評価とその実際..... 京大 大谷 淳

編集後記

前号に続き本号でも特集として脊損を取りあげました。以前にもこのテーマは掲載されたと思いますが、時の流れと共に、私達が志向するリハビリテーション事業も新たに立ちふさがる関門と相対さねばなりません。本号では特にADLに焦点をあわせましたが、ひと口に脊損患者のリハビリテーションといえども容易な問題の山積していることが各論文の随所でうかがわれます。就中、脊損患者の医学的(発症)管理から社会復帰に至るADLの過程を阻む諸々のオプスタクルは、医療従事者のみがいくら力説し解決しようとしても患者自からの積極的なアクションも伴わない限り取り除けない感じがします。この事実は、何も脊損患者に止まらずすべてのリハビリテーション対象者に当てはまる現象かも知れませ

ん。その意味で患者のADLと就職の問題は、損傷の程度よりも年令その他の要素がより複雑にからんでいるという山本論文の追跡結果に興味深いものを感じます。患者の環境づくりの問題は、大喜多氏が“とびら”で論述する如く、加療者があるいは、健常者が押し売りの事を運ぼうとしても患者自身は、彼等の殻を益々強く固守するでしょう。患者中心という言葉は、リハビリテーションの合言葉のように鵜呑みされがちですが、セラピストとしてどの時点で手綱を弛め、どこで鞭を入れるかなどの技術も大いに勉強しなければならないと思います。

講座“筋神経の生理学”も、実践的で役立つものと考えます。

(谷岡 淳)

編集顧問

天 児 民 和
九州労災病院院長

五 味 重 春
府中リハビリ学院長

砂 原 茂 一
国立療養所東京病院長

津 山 直 一
東京大学教授・整形外科
(五十音順、以下同じ)

編集委員

上 田 敏
東大リハビリ部

荻 島 秀 男
都養育院リハビリ部

佐 藤 馨
神奈川リハセンター

鈴 木 明 子
府中リハビリ学院

谷 岡 淳
自治医科大学

田 村 美枝子
リハビリ学院

寺 山 久美子
都心障センター

野 本 卓
東医歯大理療室

福 屋 靖 子
東大リハビリ部

松 村 秩
都養育院リハビリ部

編集同人

明 石 謙

赤 津 隆

内 村 静 子

梅 田 晃 昌

大 井 淑 雄

大 川 嗣 雄

大喜多 潤

鎌 倉 矩 子

紀 伊 克 昌

富 岡 詔 子

奈 良 勲

福 田 修 也

藤 本 欽 也

前 田 守

松 本 妙 子

三 島 博 信

横 山 巖

和 才 嘉 昭

(担当 細田・岩元・松橋)